

市町村長特別セミナー～災害に強い地域づくり～

平成27年度市町村長特別セミナー～災害に強い地域づくり～を、11月4日、5日の2日間の日程で開催しました。35名の市町村長・副市町村長の皆様に加え、管理職特別セミナー～災害に強い地域づくり～の研修生61名も合同講義という形で全国各地からご参加いただきました。今回のセミナーでは、「災害に強い地域づくり」を進めるため、これまでの災害の教訓を踏まえ、危機管理のあり方、都市計画を含めた防災・減災への取組などをテーマに、防災・危機管理の専門家として第一線で活躍される方からご講演をいただきました。

初日は、「巨大地震・火山噴火への対応」と題して、東京大学地震研究所副所長、災害科学系研究部門教授の古村孝志先生から、地震を知り、災害に備えるための、様々な事例とデータに基づく大変参考となるお話をいただきました。参加者からは、「専門的な分野を具体的にわかりやすくご講義いただき、参考になりました。」「いかに現実的かつ有効な対策を講じるべきか、示唆をいただきました。」などの感想をいただきました。

次に、「防災・減災のための地域づくり」と題して、東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター長・教授、日本地震工学会会長の目黒公郎先生から、災害に備えた危機管理について、東日本大震災の教訓を踏まえた詳しいお話をいただきました。参加者からは、「新たな視点で防災対策を考えることができました。」などの感想をいただき

ました。

また、1日目の締めくくりとして、アウトリーチ（地域交流プログラム）やコンサート活動で活躍されているヴァイオリニストの儀絵里子氏、チェリストの海野幹雄氏による「ミニコンサート」が催されました。アーティストとの交流や身近で楽しめる生演奏は、文化による地域活性化手法の参考となりました。参加者からは、「生演奏の素晴らしさを実感できました。」などの感想をいただきました。

2日目は、「災害時の情報発信とメディアとの連携」と題して、NHK報道局災害・気象センター長、解説委員室解説主幹の辻村和人氏から、災害と報道の現状と将来、広報対応とメディアとの連携などについてお話いただき、参考となるご講演をいただきました。参加者からは、「報道姿勢や責任が伝わり、たいへん興味深い内容でした。メディアとの連携の重要性が理解できました。」などの感想をいただきました。

最後に、「これからの防災・危機管理」と題して、防災システム研究所所長の山村武彦氏から、事例や体験談をもとにした貴重なご講演をいただきました。また「近助の精神」と「防災隣組」についてご提言をいただきました。参加者からは、「東日本大震災と阪神大震災の映像が心に響きました。」「行政のやるべき事を示唆いただきました。」などの感想をいただきました。

巨大地震・火山噴火への対応

東京大学地震研究所副所長、
災害科学系研究部門教授
古村 孝志先生



ミニコンサート

ヴァイオリニスト
儀 絵里子氏
チェリスト
海野 幹雄氏



災害時の情報発信とメディアとの連携

NHK報道局災害・気象センター長、
解説委員室解説主幹
辻村 和人氏



防災・減災のための地域づくり

東京大学生産技術研究所都市基盤
安全工学国際研究センター長・教授、
日本地震工学会会長
目黒 公郎先生



これからの防災・危機管理

防災システム研究所所長
山村 武彦氏



市町村長特別セミナー～自治体経営の課題～・地域経営塾

平成27年度第2回「市町村長特別セミナー～自治体経営の課題～・地域経営塾」を、総務省及び内閣府地方創生推進室との共催により、1月14日、15日の2日間の日程で開催し、全国各地から72名の市町村長、副市町村長の皆様にご参加いただきました。

今回のセミナーでは、市町村が直面する自治体経営の課題として、「政治・経済」、「地域政策」、「地方財政」、「地域づくり」を取り上げ、各分野でご活躍されている講師の皆様にご講演いただきました。

初日は、「我が国の政治・経済の展望」と題して、京都大学名誉教授、京都大学こころの未来研究センター特任教授の佐伯啓思先生から、日本社会が抱える様々な問題の根本的な解決には、成長、競争から、共生、持続へ価値観の転換が必要であると、深い洞察に基づいたお話をいただきました。参加者からは、「長期的視点に立った、今後の地域再生の基本理念となるような示唆をいただいた。」などの感想をいただきました。

次に、「これからの地域政策」と題して、首都大学東京 都市教養学部 准教授の山下祐介先生から、今後の地域政策では、共同や多様性の共生を理念として掲げ、社会の持続可能性を打ち出していく必要があると、熱意をもってお話いただき、また、参加者の質問に丁寧にお答えいただきました。参加者からは、「人口減少社会に対する、大きな流れについて理解を深められた。」などの感想をいただきました。

また、1日目の締めくくりとして、箏奏者の片岡リサ氏による「ミニコンサート」が催されました。楽曲の演奏、歌を交えた「弾き歌い」を披露していただくとともに、箏の幅広さと可能性についてお話いただき、音楽による地域活性化について改めて考える機会となりました。参加者からは、「素晴らしい。本物を聴く機会を得られ感謝です。軽妙な話術も楽しませて頂きました。」などの感想をいただきました。

2日目は、「地方財政の展望と課題」と題して、総務省自治

財政局財務調査課長の澤田史朗氏から、平成28年度地方財政対策などについてご講演いただきました。参加者からは、「2016年の財政展望、地方財政計画等について貴重な情報・考え方が聴け、参考になった。」などの感想をいただきました。

次に、「平成28年度における地方創生に関する施策等」と題して、内閣府地方再生推進室次長の諸戸修二氏から、地方創生に関する各種施策などについてご講演いただきました。参加者からは、「地方創生の直近の動きがよくわかりました。とても勉強になりました。」などの感想をいただきました。

最後に、「地域を変える新しい力」をテーマに、講演などが行われました。

まず、「地域の元気を引き出すために」と題して、総務省地域力創造グループ地域自立応援課長の黒瀬敏文氏から、地域活性化施策についてご講演いただきました。参加者からは、「様々な町おこしの事例等が参考になった。」などの感想をいただきました。

次に、地域おこし協力隊に関する「事例発表」が行われ、茨城県常陸太田市政策企画部少子化・人口減少対策課長の福田洋昭氏から、活用事例について、OGの長島由佳氏から、任期後起業した地域ビジネスについて、愛知県東栄町企画課主事の夏目佳樹氏から、活用上の課題と解決までの取組について、現役隊員の大岡千紘氏から、活動状況について、発表いただきました。

締めくくりの「パネルディスカッション」では、地域おこし協力隊が活動しやすい環境づくりについて、率直な意見が交わされました。参加者からは、「協力隊員の意欲を感じました。一方、活用する側にも、地域の自立力、創造性、役場職員の意識の高さが必要と感じました。」などの感想をいただきました。

セミナー全体については、「日本の政治、経済全体に関する話と地方財政、地方創生の話がバランスよく、いいプログラムでした。」などの感想が寄せられました。

我が国の政治・経済の展望

京都大学名誉教授、
京都大学こころの未来
研究センター特任教授
佐伯 啓思先生



ミニコンサート

箏奏者
片岡 リサ氏



平成28年度における地方創生に関する施策等

内閣府地方再生推進室次長
諸戸 修二氏



これからの地域政策

首都大学東京
都市教養学部 准教授
山下 祐介先生



地方財政の展望と課題

総務省
自治財政局財務調査課長
澤田 史朗氏

パネルディスカッション
地域を変える新しい力

市町村議会議員特別セミナー～自治体経営の課題～

平成27年度第2回市町村議会議員特別セミナー～自治体経営の課題～を、1月18日、19日の2日間の日程で開催しました。今回は、全国各地から121名の市町村議会議員の皆様にご参加いただきました。

今回のセミナーでは、政治、経済、地方創生、地方議会改革の分野から第一人者の講師の方をお招きし、「これからの政治」「今後の日本経済」「地方創生と地方議会」「地方議会をどう変えるべきか」といった内容についてご講演をいただきました。

初日は、まず「これからの政治の行方～2016年サミットと参院選の展望～」と題して、読売新聞メディア局編集委員の伊藤俊行氏から、2016年の政治展望、現政権の成果と課題などについてご講演をいただきました。参加者からは、「新聞業界の現況の話で、政治とどう向き合っているかが理解できた。」「ジャーナリストの視点による鋭い考察で、政治展望や安倍政権に対する見解を聞くことができた。」などの感想をいただきました。

次に、「今後の日本経済の展望」と題して、千葉商科大学学長の島田晴雄先生から、アベノミクスの評価と現状分析、成長戦略に関する提案などについて、さまざまな角度からご

講演をいただきました。参加者からは、「経験・実績に基づく話で、活きた経済を感じ取れてよかった。」「異次元成長戦略の提案が興味深かった。」などの感想をいただきました。

2日目は、まず「地方創生と地方議会の役割」と題し、毎日新聞論説委員の人羅格氏から、地方創生と地方議会の関わり、各地方議会での先進的な取組事例などについてご講演をいただきました。参加者からは、「地方議会の役割についてわかりやすく説明してもらった。」「地方議会に対するマスコミからの率直な意見は参考になった。」などの感想をいただきました。

最後に、「地方議会をどう変えるべきか～政治の役割～」と題し、中央大学経済学部教授の佐々木信夫先生から、2000年の地方分権改革以降の地方議会の立ち位置の変化により、期待される役割をどのように果たしていくかなどについてご講演をいただきました。参加者からは、「地方議会の役割の変遷について説明を受け、議会改革の方向性が見えてきた。」「議会における政策決定過程のあり方について、今後、是非実行していきたい提案をもらった。」などの感想をいただきました。

これからの政治の行方 ～2016年サミットと参院選の展望～

読売新聞メディア局編集委員

伊藤 俊行氏



今後の日本経済の展望

千葉商科大学学長

島田 晴雄先生



地方創生と地方議会の役割

毎日新聞論説委員

人羅 格氏



地方議会をどう変えるべきか ～政治の役割～

中央大学経済学部教授

佐々木 信夫先生

